

石里忠篤 いしむね 官僚、政治家。明治十七年一月九日東京生れ、昭和二十五年三月十日歿（八六四—一九六六）。陸軍軍醫石里忠惠 いしむね の長男。明治四十一年東京帝國大學法科大學卒。農商務省入省、農務局長、初代蠶絲局長、農林次官を經く、昭和十五年農相、十八年貴族院議員、二十年農商務相、二十七年參議院議員。また十一年に日本農業經濟科學會會長に就任したのを始り、農商務關係團體の要職を歴任、農政の神様との異名が有つた。妻光子は法學者徳積陳重の次女。

著書 『太平洋民族學の開創海軍大佐松岡靜雄』（合著・小西千比古編、昭和十八年五月）、二十五日南洋經濟研究所出版部「南洋資料」）、『MIN-OMIYA SONTOKU, His Life and "Evening Talks"』（編、昭和二十年八月）、二十五日研究社印刷株式会社）、『農政落葉籠』（昭和二十一年六月）、二十日岡書院）等。石里忠篤先生追憶集刊行会編 『石里忠篤先生追憶集』（昭和二十七年十一月刊）、日本農業研究所編著 『石里忠篤傳』（木村昇執筆、昭和四十四年八月二十日岩波書店）刊。

